

サロンのあべの

Vol. 142

大阪市長居障害者スポーツセンター再発見!

△サロン・あべの△3月の出会い
 同センターと障害者スポーツ

りについてのお話を伺いました。

日差しのやわらかい彼岸日和の平成10年3月21日(土)午後1時〜3時、大阪市長居障害者スポーツセンター(大阪市住吉区長居公園1-32)会議室で『「スポーツする?」大阪市長居障害者スポーツセンター再発見!』をテーマにサロン3月の出会いを持ちました。

同スポーツセンターの指導課長をされている小林智志先生よ



開所当時、関古鳥が鳴くほど昼間の利用者が少なく、夜になって勤務を終えた身障者の利用者が多くあった。しかし、年々利用者が増えてきて、最近はいくデイでも賑うほどになってきた。昨年の10月からは、「身体障害者スポーツセンター」から「障害者スポーツセンター」に呼び名も新しくなり、利用できる障害者の範囲も広がった。それまでは、身体障害者(肢体・盲人・聴覚障害者など)のみ

スポーツする?

の利用であったのが、昨秋からは精神障害者も利用出来るようになり、大きな範囲で障害を捉える時代になってきた。

職員数は当初のままなので職員数の障害者に対するサービスの時間が、以前より少なくなってきた。以前はいつ来てもスポーツの相手や指導をすることが出来ていたが、近ごろは予約が必要なスポーツもある。例えば卓球。予約待ちで、スポーツに対応する時間も30分から、20分に短縮されてきた。一日ゆっくり過ごせるなら、「アミテイ舞洲(大阪市舞洲障害者スポーツセンター)」へ行ってみるのもよい。

○障害者のスポーツ
 最初はハビリとして考えら

れてスポーツが取り入れられてきたが、当センターでは利用する障害者の健康促進と維持、そして、センターへ来ることにより多くの人たちと出会う場所として考えている。スポーツは誰でもどこでも出来るものであり、そうあつて欲しいと考えている。特別の場所や道具はなるべく使用しないようにしたい。

身近な所で気軽に出来るスポーツが長続きする。健康維持も構えずに出来る。障害者がセンターに来て希望のスポーツを申し出れば、職員はその人の障害を見て、簡単な工夫で気軽に出来るように体制作りを考える。障害者はスポーツセンターへ来ること、一歩家を出たところから気が抜けない。特に視力障害の人は、命懸けだとも言える。だから、スポーツという点ではなく線として全ラインを安全で充実したものにしていかない

と障害者のスポーツを考えられない。それには、ハード(施設や設備等)面とソフト(ボランティア等)面の連携が大切である。センター内でも、開所当初より障害者のスポーツをサポート出来るボランティアを養成してきているが、この問題はセンター内だけのものではないと考えている。

今年には長野冬期パラリンピックが開催されて、身体障害者のスポーツが一般社会に注目されたが、ここへ出場した人たちは特別の人たちと考える。その道のスポーツの頂点に立った人たちである。以前、外国で開催されていたところは、その人たちの活躍さえスポーツ欄には掲載されなかった。しかし、今回はスポーツ欄に記事が掲載された。選手の活躍もさることながら、社会が障害者のスポーツを特別なものと考えにくくなってきた

のではないか。

障害者のスポーツの種類は一般のスポーツと同じだけあると考えられるが、重度の障害者向きに創意工夫されているスポーツもある。車いすサッカーやボッチャなど、また、子供用の遊戯室もある。その他、クラブや個人活動として車いすバスケット・エアロビクス・水泳・バトミントン・アーチェリー・ボウリング・卓球などがある。他に選手育成の車いすマラソンや、季節的なスキーなどもある。

スポーツ教室もその時々で開催されているので、まず楽しみを知るために、スポーツ教室へ入会するのがよい。

○体験スポーツ

今回、誰でも気軽にできるスポーツとして盲人卓球を体験させていただいた。

盲人卓球台はネットの下を転がして、板のラケットで打ち合

う。手前の卓球台にはコの字型に高さ2cmくらいの囲いがあり他へ転がって行かないようになってい。球には3個の小さな鉄の球が入っていて、転がすとシヤラシヤラ音がする。試合の時はアイマスクをするそうだが、今回はその人なりのそのままの姿で体験させていただいた。車いすに乗っている人、杖をついている人、健常者など。転がる球にラケットを合わせるだけだが、けっこう難しくその分楽しめた。

その後、小林先生のご紹介と大北さんのご案内で、隣室のピームライフルクラブ(大阪障害者ライフル射撃クラブ・代表II 池田 繁)の練習場を見学。そこでも何人かがムービライフルを体験させていただき、命中心の時の満足感を少なからず味わった。

参加者20名 (富田慶子)

★あなたはなににトライ？★

今世紀最後のオリンピックとパラリンピックが終った長野。始まるまではあまり実感のなかったオリンピックもやはりその時々々の種目が話題になるとテレビに見入ってしまいました。特にパラリンピックの閉会式は松明をもった男の子と女の子の装束、巨大な龍といった演出もとても印象的。しかし、この時、なんといっても素敵だったのは十二人の金メダルをはじめ、四十一のメダルに輝いた日本の選手・役員はじめ、会場にいたすべての人々の表情。日ごろ、日常生活のなかで充実感、達成感を味わう機会は少ないもの。特に年齢が進むにつれて減ってきますが、その場にいた人々はみんな満足感に溢れていました。きつと選手たちは四年後を目標として技術を磨いて記録に挑戦していく日々が続くのでしょうか。

もうひとつ、驚いたのは会場と選手たちを飾った千羽鶴の数の多いこと。テレビの画面を通して観ていても、広い会場が温かく感じられました。きつと多くの人がいろいろな思いをこめて折られた、その思いが集まっていたからでしょう。

これから、春本番。暖かくなってきたらオリンピック・パラリンピックの選手たちのようになにか生活のなかに新たな目標を見つけてそれを達成していきたいもの。そういうえば連続したたくさんの千羽鶴やとても小さな千羽鶴を折ることに挑戦しているひともいましたっけ・・・

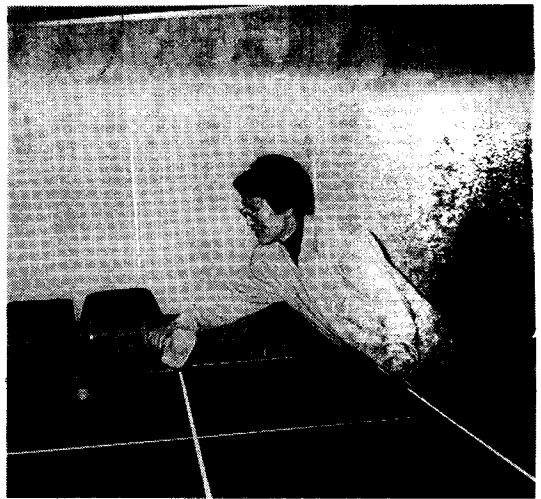
あなたはなににトライしますか？

河合 恵子

★転がる球でも打ちにくいね★

スポーツセンターの先生が、他の場所から、折りたたみ式の大きな卓球台をゴロゴロと引っぱってこられました。盲人用の台だそう、台の真ん中には継ぎ目がなく、手前は球が落ちないように二センチくらいの高さの板がはってありました。球はジャラジャラと音が出るようになっていました。初め、曽根さん(弱視の方)と車イスの方も松葉杖を置いて、球を打たれました。盲人用はネットの上を飛ばさないで、ネットの下を転がすのです。初めは運動神経が悪いのでしりごみしていた私も、皆さんがやられるので、転がすのならできるかなと思ってやってみることにしました。

目を開いてやると簡単でした。が、目をつむると、球には当たるのですが、ジャラジャラと音をたてて来る球がどこにあるの



かわかりません。つい、目を開けて打ってしまいました。ほとんどの方は初めてというところもあって、ゴロゴロとゆっくりころがしていましたが、曾根さんは盲人卓球を見たことがあって、

「ものすごい早さで打ち合われるので、僕なんか全然打ち返せないですよ」と教えてくれました。

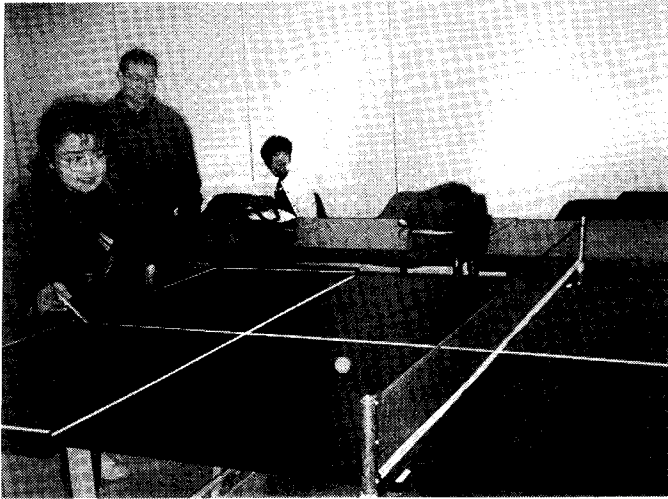
目の見えない方のほうが、注意力や音への感覚が鋭いのですね。

実はまだこのあとあるんです。そのお話はつぎのお楽しみに。

和田 保子

★
初めての体験
チームライフル
★

先月、ハサロン・あべのV三月の出会いで長居障害者スポーツセンターを見学したとき、チームライフルを初めて体験しました。



自分には難しいと思っていましたが、右手だけでも撃つことができました。

一回目の成績は九点、二回目は八点、三回目九点、そして四回目に十点。十点が出た時は嬉しく、又、やって見たくなりました。何度かやるとはまりそうな気がします。そして、私も健康のため、スポーツをやるうと思いました。

堀田 ゆかり

ありがとうございます アンケート

新年度のサロン企画を立てるに当たり、皆様にお知恵をいただきたいと思ひまして、一月、二月の二回ハサロン・あべのVに対するご希望を、お尋ねしましたところ幅広い範囲に渡るお声を聞かせていただきました、ありがとうございます。

初めての内容や懐かしい企画など、様々なお答をいただきました。これらを基にこれからのサロン活動をより新鮮で、楽しい出会いの場となるようにしていきたいと考えています。

まだ、あれこれ、思いつかれたり、お気づきのことがありましたら、アンケートの期限にかゝらずお知らせください。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ハサロン・あべのV運営委員会

アメリカからのお便り

3-13-98 って少し雪が降りました。

親愛なる慶子さんへ

あなたがあまり痛みもなく元気にお過ごし
になっていらっしゃるようです。

支援するグループはどのようになっていますか。
あなたと支援者のグループが旅行など
なさいますか。

ちょっとしたことで疲れやすいですか。私
がそうなんです。

桜の花はもう開いていますか。
桜ってほんとうにきれい！

このところ お天気が暖かくなってきて
雪が全部溶けたのですが、今、また、寒くな

私の家族は元気ですが、主人ゲーリーは頭
痛持ちで背中と足が痛みます。

娘スージーは、詩の朗読で1位になりました。
彼女は詩が大好きです。

あなたのご家族はいかがお過ごしですか。
書いて知らせてください。

あなたのすべてがうまく行きますように。
グループの方々にもどのように過ごしてい
るか手紙に書いてくださるよう、お願いでき
ませんでしょうか。

ではお体に気をつけて。

パティより

3-13-98

Dear Keiko -

I hope this finds you doing
well and you not in too much
pain. Do you take medicine
for your arthritis?

How is the support group?
Have you and the support group
gone on any trips?

Do you get tired easily?
I do.

Are the cherry blossoms
out? They are so beautiful!

The weather has been pretty
warm for awhile and the snow
had all melted. Now it is cold
again and we have a little snow.

My family is good. My husband
Ger gets bad headaches and
painful back and leg.

My daughter Susie won

2-1st place prizes in poetry
reading. She really likes poetry.

How are your family.
Write and let me know.

Hope you are all ok.
Ask your group to write and
tell me how they are.

Take Care,
Patti

これは便利。

贈り物をするときや、本や写真を
送るときなどにひとこと添えたい
場合、便利なのがこの一筆箋です。

サロンの一筆箋

1冊100枚綴 ¥150

ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、
生き生きした生活を送るために—

1

伊藤智佳子

今回から、このコーナーに書かせていただくことになりました伊藤智佳子と申します。

読者の皆さんの中には、ピア・カウンセリングという言葉を知っておられる方が多いと思います。しかし、ピア・カウンセリングという言葉は知っているけれど、その内容についてははっきりとはわからないという方が多いのではないのでしょうか。私自身、ピア・カウンセリングという言葉を知

ったのは、今から約十年ほど前に横浜で開催された日米障害者セミナーに参加したときでした。それ以来、ピア・カウンセリングという言葉が示す内容について明らかにしたいと思い、ピア・カウンセリングについて追求してきましたつもりです。

ピア・カウンセリングという言葉を知ってから約十年経った今、ほんの少しですが、その内容をつかむことができましたよな気がしています。今回、縁あってこのコーナーに書かせていただくことになりましたが、私自身十年間追いかけてきたピア・カウンセリングについて書かせていただきたいと思えます。

私自身、どこまで、みなさんに「ピア・カ

ウンセリングってどのようなものなのか」についてお伝えできるかわかりませんが、ピア・カウンセリングの内容についてほんの少しでもイメージしていただけるように書いていきたいと思っています。しばらくの期間、おつきあいください。

本題に入りたいと思いましたが、前置きが長くなりすぎて紙数の都合上今回は本題に入ることができません。次回から、
一 わが国における障害をもつ者同士のピア・カウンセリングの導入過程
二 わが国におけるピア・カウンセリングの現状
などについて書いていくことにします。

♪♪・♪♪♪・♪♪♪・♪♪♪・
♥ 愛のジョイントコンサート ♥
♥ CHANSON TANGO FOLK ♥

♪♪・♪♪♪・♪♪♪・♪♪♪
日 時=5月23日(土)
17時30分開場、18時開演

会 場=森ノ宮ピロティホール
出 演=グラシエラ・スサーナ
奥田真祐美
野田淳子・他

曲 目=思い出のサントロベ
キリマンジャロ
アドロ
粹なわかれ他

ゲスト(職)=大野正雄(作曲家)
演 出=内海重典
演 奏=馬詰のりあき&ザ・クラッチ
チケット=前売¥4,500。
当日¥5,000。

前売り券お申し込み先：
TEL・FAX 06-692-8774
(奥田真祐美音楽事務所)

★ 福祉の仕事

「近頃の学生さんはどうですか」と、よく聞かれる。聞くのは、たいてい昔、大学生だった人々である。実際、高校生から「近頃の大学生は？」と聞かれたことは、まだ一度もない。

そんな質問をする人が期待しているのは、おそらく次のような答えだ。「いやあ、勉強しなさいですね」「大学に入るまえに勉強をしすぎたのでしょね、疲れていますよ」「アルバイトばかりで学校に来ませんね」「何を考えているんだか、わからんですなあ」。

私がそう答えたとしたら聞いた人は満足げにうなずくにちがいない。「ふむ、ふむ、そうでしょうなあ」。誰しも自身自身の学生時代を美化したがるものだし、とくに過去のことには信じたいことを信じるものだからだ。

ところが、私の答えは少し違う。「いやはや、よく勉強しますよ」「熱心ですね、私が教員を始めたころとは大違いで

す」。実際、私の実感はそうなのである。大学生一般のことはわからない。私が勤めている大学の社会福祉学科に関しては、そうなのである。その理由は、たぶん社会福祉に対する社会のイメージが変わってきたためだと思う。

むかしは（私が教員として勤めはじめた一九八〇年代後半にさえ）「会社で働くのが嫌になったので福祉施設でも働きたいので、どこかい施設はないか」という相談があった。「社会福祉の勉強をされましたか」と聞くと「そんな勉強が必要なんですか」と逆に聞かれたりした。

「福祉現場で働く人が普通の給料をもらっているのは変だ。貧しいなかで働いてこそ福祉の仕事ができる」という主張が若い学生のなかにさえあった。福祉の仕事は、ふつうの仕事ではなく、なにか「世捨て人」の修行のように理解されていたらしい。



仕事として福祉に関係する人への社会の目がこのようなものだったから、まして福祉サービスを利用する人への偏見は強烈だったにちがいない。

二十一世紀が近づき、社会福祉も普通の職場のひとつとして認められてきた。学生たちも卒業後に福祉の現場に進むことを考えて入学してくる。これは十年前には少なかったことだ。

若い人の人口が減り、大学生の数も減ってくる。そのなかで福祉・看護系の大

学だけが数を増やしている。社会福祉を大学で学ぶ人の数は十年前と比べて倍以上に増えている。

むかしは福祉系の大学を出ていれば、どこの福祉施設でも歓迎してくれた印象がある。いまでは施設の就職試験は難しく倍率も高い。「ペーパーテストでいい人が選べるか」という反論もあるが、多くの希望者のなかから選べる状況自体は良いことだ。

福祉施設での人権侵害がニュースで取り上げられるようになった。これは福祉施設が以前より悪くなったということではなく、むしろ全体として状況が良くなってきたからこそ悪いところが見えてきたということだろう。以前は人権侵害があっても見えてこなかっただけなのである。

福祉の状況は大きく変わりつつある。日本の経済は停滞しているが、人々の意識の変化は続くだろう。私はきわめて楽観的なのだ。

(知)

作る つくる 創る (河合忠子) はお休みです。

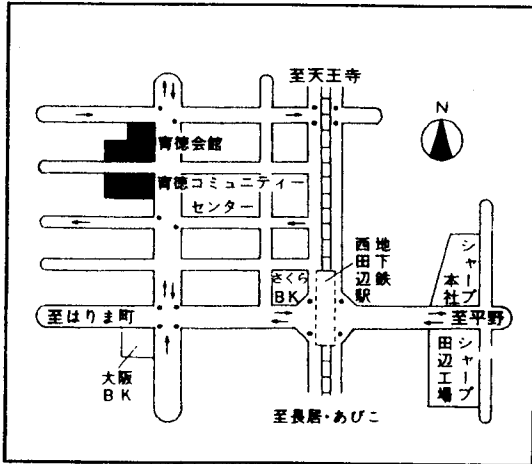
ききみみずきん

障害者の足は？

大阪市では春になると、障害者に市営交通（市バスや市営地下鉄）が利用できる無料乗車証か、タクシー利用券、もしくはリフト付きタクシー券（共に初乗り料金が差し引かれる）が送られてきます。障害者はそのどれかを選んで一年間活用するわけです。しかし、市営交通乗車証の方は定期的ように利用できるの比べ、タクシー利用券の方は枚数に限りがあり、無くなっても再発行はされないようです。また、リフト付きタクシー利用の場合は、事前にタクシー会社に予約を入れておかなければ利用できません。障害者の移

動をどのように考えればよいのかちよつと疑問を覚える昨今です。イギリスやオーストラリアでは一般のタクシー乗り場にもリフト付きタクシーも並んでいるそうですし、無線で来てもらうことができるそうです。料金も一般車並みで、誰にでも利用できる交通機関だったら、障害者にも利用しやすいでしょう。

その外国のリフトタクシーを障害者以外に誰が利用するのかと不思議に思われるかもしれませんが、多人数の家族やグループ、それに荷物が多い人などが利用しているそうです。(け)



お知らせ

△サロン・あべの▽5月の出会い

日時 5月16日(土)午後1時～4時

場所 育徳コミュニティセンター研修室

〔大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

スロープ・車椅子トイレ有り〕

テーマ 「盲導犬とのふれあい」

パネラー 山本美恵子氏

会費なし

お問い合わせ先

TEL 06-691-1028 (富田慶子)



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」5月の出会い

日時 ; 平成10年5月17日(日)
午後1:30～午後4:00

場所 ; 「やすらぎ」

[大阪市淀川区三国本町2-14-3]

内容 ; 「子育てから学ぶ肝っ玉母さん奮闘記」

パネラー: 岩田美津子氏

点訳絵本「ふれあい文庫」代表

会費 ; なし

問い合わせ先 ; 淀川区社協 絆フェア・ビューロー

TEL 06-394-2900

■「ウイズ東淀川」5月の出会い

日時 ; 平成10年5月10日(日)
午後1時30分～4時

場所 ; 大阪市立東淀川区民会館

[大阪市東淀川区東淡路1-4-53

TEL 06-379-0700]

内容 ; 「パソコンに親しもう」

パネラー ; 宿南勝氏

「ぼこあぼこ」代表

会費 ; なし

問い合わせ先 ; 鈴木 昭二

TEL・FAX 06-340-3082

■「サロンいたみ」5月の出会い

日時 ; 平成10年5月23日(土)
午後2時～3時30分

場所 ; 伸幸苑

[伊丹市寺本6-150]

内容 ; 「生活習慣病について」

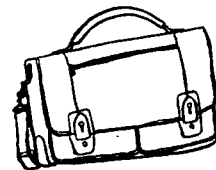
パネラー ; 中田香子氏

伊丹市女性政策課長(保健婦)

会費 ; なし

お問い合わせ先 ; TEL 0727-84-0057

(19時以後に、砂脇まで)



サロン・あべの

97



ふれ愛びつく大阪・リハーサル大会に始まり、秋の本番。そして、年明けのNAGA NOオリンピック、それに続くパラリンピック等々。感動、感激を体感しながら、その時々を盛り込んだサロンの出会い。今期のサロンはどっぷりスポーツを楽しみました。

☆平成9年度活動テーマ「今年のサロンはスポーツイヤー」

月・日・曜日	会場	毎月の出会い
97年 4・19・土	育徳コミュニティセンター2階研修室	「スポーツ考」くあなたのスポーツ、アドバイスしますく パネラー 高橋 明氏(長居身障者スポーツセンター指導主査)
5・17・土	育徳園・3F 幸分ホール	「アンサンブル ひまわり」コンサート 出演 アンサンブルひまわり(代表 正岡真紀氏)
6・21・土	育徳コミュニティセンター2階会議室	「ひとつの障害者 自立の形」く世界身体障害者芸術家協会会員の場合く パネラー 森田真千子氏、ゲスト ヘルト・ネイス氏(ニルキョウ齋)
7・19・土	育徳コミュニティセンター2階研修室	「障害者とスポーツ」くアーチェリーを中心としてく パネラー 御前敏一氏(テイラザ酸アーチェリークラブ代表)
8・3・日	工芸高校校庭	あべのカーニバルなんでも市通り「さろん亭」開店
9・20・土	育徳コミュニティセンター2階研修室	「走ろう歌おう大運動会」について パネラー 仲谷政彦氏(走ろう歌おう大運動会実行委員長)



10・18・土	アミティ舞洲	舞洲へ行こう！〜大府障害スポーツセンターアミティ舞洲見学会〜
11・15・土	育徳コミュニケーションセンター2階研修室	「あなたと私のスポーツ自慢」 〜全国身体障害者スポーツ大会入賞者を囲んで〜
12・6・土	育徳園3階 幸分ホール	「スイートハートXmas」 ゲスト：山手品：外山君代、永堀厚子氏（不思議塾） 音楽：大府障害コミュニケーションボランティアグループ「ひびき」（代表：松友孝氏）
98年 1・17・土	ホテルエコーオサカ 9階多目的ホール	「トラ年 はっぴー、はっぴーサロン」 新年昼食会・福袋
2・21・土	育徳コミュニケーションセンター2階研修室	あなたとわたしのスポーツ自慢PART2「ふれ愛びつく大阪」よもやま話 パネラー：梶谷終一氏
3・21・土	長居障害者スポーツセンター会議室	「スポーツする？」大阪市長居障害者スポーツセンター再発見！ パネラー：小林智志氏（長居障害者スポーツセンター指導課長）

◎その他の活動

- ハサロン・あべのV紙毎月第3土曜日発行
- さろん文庫毎週金曜日午後1〜4時（阿倍野区在宅サービスセンター・ビューロー室）
- 毎月の広報活動：アベノ・タウン紙、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞、他
- 海外文通：アメリカPatricia Truckly、イギリスMargaret Bowler、
韓国H馬 泰植、ドイツBrigitte Ehrenberg、
- 平成9年度大阪市ボランティア活動振興基金助成金交付を受ける
- サロングッズ制作と販売
- ハサロン・あべのV10周年記念誌「はあとが、はろー！」、絵葉書「風景・花だより」
絵葉書「わがまち阿倍野」3シリーズ、一筆箋、阿倍野いろはがらた、など

美智子のこんな話

岸田 美智子

介護保険法の問題点について

二〇〇〇年四月から、いよいよ実施される介護保険法は、介護の問題をすべての人の問題としてとらえ、社会的なシステムとして作っていくようにしているところは評価できるのですが、少し考えると、いくつかの問題を挙げる事ができると思います。

まず所得が低い人たちへの介護保険料の掛け金の減額と自己負担金の減額の制度はぜひ考えてほしいものです。

この介護保険法が実施されると、今まで

重度障害者の地域での自立生活を支えてきた生活保護法の他人介護料特別基準の介護料制度(月々約十七万円)がなくなる可能性があり、これは地域での重度障害者の生活基盤を脅かすものであると思います。

また、仲間である障害者の多くが六五歳に達し、給付対象になると、今までの受けていた福祉サービスの水準を維持していけるかどうかという問題があります。

介護保険の最高限度額が二九万円だと聞いています。これは現実には私の介護料を計算しても、大きく下回っています。

このような問題に対し、都道府県各地では、実際に、月々二九万円以上の介護料が支払われていますが、これは障害者の地域で生きていく地道な運動の積み重ねによるものです。このような地域格差は、この介護保険法導入によって切り捨てられては、たまったものではありません。

在宅福祉サービスが、介護保険法の最高限度額を上回って実施されている地域は、今後どのように重度障害者の生活を保障していくのが問題となってくると思います。

元々この介護保険法は、老人問題を中心

に考えられており、寝たきりなどの老人介護を担っている家族の負担軽減ぐらいしか想定されておらず、重度障害者が地域で自立生活を送り、社会参加をしていくという人生設計などは考えられてはいません。

今後私たち障害者の介護問題をも含めた介護保険法を考え直していってもらいたいものです。

老人の方々も、もつともつとより豊かなその人らしい生活を地域で送りながら、家族の手をわずらわせることなく社会参加していける介護のあり方を、社会全体でぜひ実現していくべきではないでしょうか。

☆ライフ・ネットワーク

〒五五八-〇〇〇-一

大阪市住吉区大領五十一-十六

TEL 〇六-六〇七-八二六〇

FAX 〇六-六〇七-七五五〇三



朗読テープのご案内

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、
<サロン・あべの>紙141号の録音テープ(60分)が出来ました。

朗読テープ文庫

1. <サロン・あべの>紙は、第1号より141号までそろっています。
(50号は、90分と60分の2本のテープに、100号は、120分テープ2本)
2. <サロン・あべの>10周年記念誌「はあとが、はろー！」(90分テープ2本+120分テープに収録)
3. 絵本「未知の記憶」(作・絵=中川勝彦)
4. 「ラジオたんぱ」放送『<サロン・あべの>平成7年5月の出会い』放送分(30分)
5. エッセー集「逃げた〃ヨナ〃〜ボランティア活動の周辺〜」(岡本栄一著・表谷恵美子音訳)

いずれもご希望の方には、ダビング、または貸出しをしますので、冨田までお申し出ください。(☎06-691-1028)

感謝

カンパ、お茶菓子等のご寄贈、またサロングッズのお買い上げ、ありがとうございました。お礼申し上げます。

大里哲子、大野 淑、加賀谷 正、
小西千代子、須賀順子、照井邦子、
藤井和子、藤井さゆり、宮崎喜代子、
他の方々。



ちようどいま、タケノコがすくすくと育ち、親竹は若竹に養分をとられて、葉が黄ばんだり落ちたりして、葉がわりをするとき。竹林は枯れ色の竹の秋に。
なにがなんでも「かるた」です。

解説者 表谷恵美子

カラーセラピー

4月より色彩研究所を心齋橋に移転いたしました。カラーセラピーに留まらず、ジェネラル・セラピーを目指し、癒しを追求していきたいと考えています。

皆さんとご一緒にやっていけることを願っています。気軽に遊びに来てください。また、カラーセラピー・癒しに興味のある方、連絡してください。ご一緒に研究しましょう。お待ちしております。

福永享子

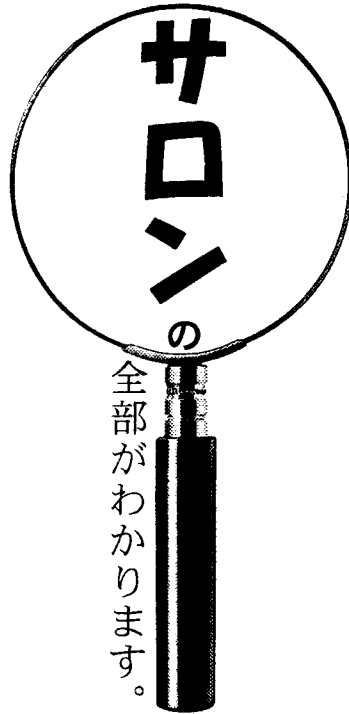
☎542-0086大阪市中央区西心齋橋

1-10-28心齋橋Mビル1005

Making Color

☎06-241-8120

はあとが、はろー！は
もう
お読みになりましたか。



はあとが、はろー！

頒布価500円 (送料別)

編集後記
FROM EDITOR

阿部幸恵さんの「知的障害のある人の支援体制づくり」
につづいてお書きいただいた「これ はなそう！」は先月
で終わりました。この二つの連載から当事者運動の実践やい
ろいろな情報を教えていただきました。ありがとうございます。新しく今月から伊藤智佳
子さんの「ピア・カウンセリングを考える」が始まります。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.142['98. 4.18.発行] 定価¥100.
代 表；上平幸雄〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365
連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028
表 題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子
郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941
印 刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスタービル2F ☎06-719-8212 ☎06-719-8213

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)